

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年7月31日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	霧島市地域包括支援センター	代表者名	林 歩美
担当者部署	隼人南支所	連絡先電話番号	0995-43-2363
担当者役職	一般職員	担当者氏名	松崎和久
住所	899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3-9-20	連絡先E-mail	

##### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	霧島市	連絡先部署	長寿障害福祉課
担当者氏名	下津曲聡子	連絡先電話番号	0995-64-0704
		連絡先E-mail	

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 亮
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	本来であれば、具体的なICTを必要とする事案があって、それに対してアドバイスをいただくことがこの制度の正しい活用と 考えますが、残念ながら私達にはまだそのような具体案がない中での依頼でした。 そのような私達にとりまして、ICTを使って何かしようではなくて、まず自分たちにとって何が必要なかの問いをつくるこ とが重要で、それを解決する手段としてICTの活用を考えるという先生の説明は、今後の進め方にとても参考になりました。
アドバイザー への要望事項	後半の「地域で持っている可能性への着目」「データ化で課題を可視化する」の講義は、今私たちが取り組んでいる 地域づくりそのものに当てはまると思いました。具体案ができましたらまたご指導いただきたいと思います。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年7月9日	10時00分	12時00分	5	115
	派遣形態	講演(オンライン)			

#### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	霧島市役所職員、霧島市地域包括支援センター	23人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	霧島市の第9期高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定にあたり、地域包括支援センターと して目指す今後3ヶ年の取り組みについて、積極的にICT/IoTを取り入れていきたいが、 ・職員の情報化に対する知識不足。 ・先進事例等の情報不足。 ・アイデアを具体的に進めていくための方法や段取りがわからない。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・人材不足による業務の滞りを、ICT活用により効率化したい。 ・停滞している地域づくり(人口減少、地域で集う場や機会を増やすなど...)の突破口として、 ICTを活用し地域の活性化を図りたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	1. ICTの知識だけ身につけても課題は解決しない ・問いを作ることの重要性 ・ICTは何のために存在しているのか ・ICTと仲良くなるために必要 な視点 2. 自分事駆動(ジブンゴトドリブン)で進めていく ・当事者としての課題から出発する ・自分たちが地域で持っている可能性に目を向ける ・データ化で課題を可視化する ・地域社会の弱みを真っ先に察知する	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後の取り組み方、進め方にとても参考になりました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	講義内容を参考にしながら、業務の効率化・地域の活性化のために具体的な取り組みを検討してい きたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果 についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講義に際して質問事項をつつたところ、「自治会等のコミュニティがICTを使用している事例が知 りたい」ということが上がりました。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	霧島市の第9期高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定にあたり、地域包括支援センターと して目指す今後3ヶ年の取り組みについて、積極的にICT/IoTを取り入れた具体策を提言する。	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

2日間でお話したいこと

7月9日（木）

1. ICTの知識だけ身につけても課題は解決しない
  - 問いを作ることの重要性
  - ICTは何のために存在しているのか
  - ICTと仲良くなるために必要な視点
2. 自分事駆動（ジブンゴトドリブン）で進めていく
  - 当事者としての課題から出発する
  - 自分たちが地域で持っている可能性に目を向ける
  - データ化で課題を可視化する
  - 地域社会の弱みを真っ先に察知する

7月10日（金）

3. ICT/IoT/5Gなどの基礎知識
4. 国が進めようとしている政策や先進地域での取り組みや成果
5. 霧島市の地域づくり、福祉政策で取り組み可能な情報化について意見交換

問いを作ることの重要性

地域の人たちとの対話から生まれたICTの開発例

PUSH大阪	yumbuy
「CIVIC HACK OSAKA 2014」 (2014.8)	「最上町『農業・畜産業xIT』アイデアワーク」 (2015.10)

どちらもテーマとなった行政、生産者を、参加者として巻き込み、ワークで課題・欲求の整理を徹底。本当に欲しいものを見据えてから試作開発に着手。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年7月31日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	霧島市地域包括支援センター			代表者名	林 歩美
担当者部署	隼人南支所			連絡先電話番号	0995-43-2363
担当者役職	一般職員	担当者氏名	松崎和久	連絡先E-mail	
住所	899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3-9-20				

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	霧島市	連絡先部署	長寿障害福祉課		
担当者氏名	下津曲聡子	連絡先電話番号	0995-64-0704	連絡先E-mail	

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 亮
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	私達の情報化に対する知識不足、先進事例等の情報不足に対する講義内容の希望に対して、分かりやすく説明していただきました。講義の最後には、意見交換会も設定していただき予定時間を大幅に超えて対応していただきました。ありがとうございました。
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年7月10日	15時00分	17時15分	5	130
	派遣形態	講演(オンライン)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	-----------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	霧島市役所職員、霧島市地域包括支援センター	24人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	霧島市の第9期高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定にあたり、地域包括支援センターとして目指す今後3ヶ年の取り組みについて、積極的にICT/IoTを取り入れていきたいが、 ・職員の情報化に対する知識不足。 ・先進事例等の情報不足。 ・アイデアを具体的に進めていくための方法や段取りがわからない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・人材不足による業務の滞りを、ICT活用により効率化したい。 ・停滞している地域づくり(人口減少、地域で集う場や機会を増やすなど...)の突破口として、ICTを活用し地域の活性化を図りたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	3. ICT/IoT/5Gなどの基礎知識 ・生活に入り込むICT/IoTとデータ利活用の全体像について ・5Gの概要について 4. 国が進めようとしている政策や先進地域での取り組みや成果 ・内閣府スーパーシティ構想について ・ICTを活用した見守り事例 5. 霧島市の地域づくり、福祉政策で取り組み可能な情報化について意見交換	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ICT、IoTについては参加者のほとんどが知識を持たない中で、基礎知識や今進められようとしている政策、具体事例を講義していただき、今後の計画策定に参考になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	講義内容を参考にしながら、業務の効率化・地域の活性化のために具体的な取り組みを検討していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講義に際して質問事項をつつたところ、「自治会等のコミュニティがICTを使用している事例が知りたい」ということが上がりました。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	霧島市の第9期高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定にあたり、地域包括支援センターとして目指す今後3ヶ年の取り組みについて、積極的にICT/IoTを取り入れた具体策を提言する。	

